Vol. II, Pt. 4 Dec. 1951.

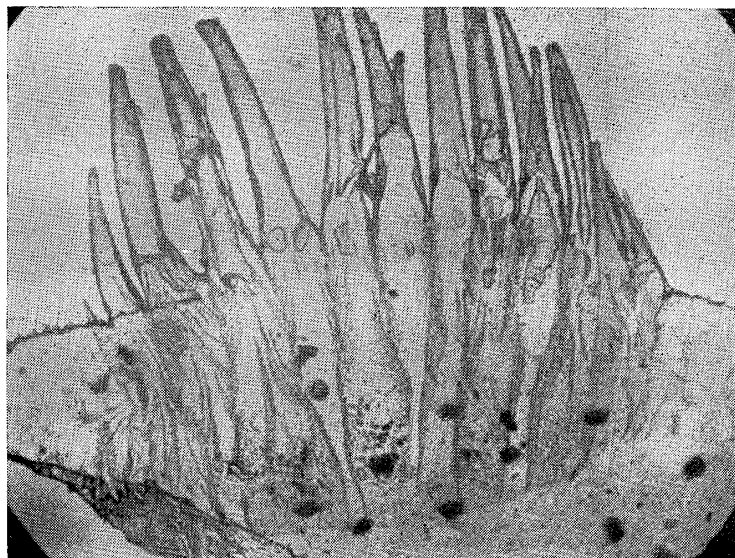
蝶と蛾
BUTTERFLIES AND MOTHS

(The Transactions of the Lepidopterological Society of Japan)
The Lepidopterological Society of Japan
c/o Y. OKADA, Yanagida-cho, Saga, Kyoto, JAPAN.

モンキチョウの脱糞装置に就て

中村正直

ON THE ANAL COMB OF *COLIAS HYALE POLIOGRAPHUS* MOTSCH

By MASANAO NAKAMURA.

Anal comb of *Colias hyale poliographus* Motschulsky.
(倍率 110倍)
福原義春 撮影 1951-6-21. (M-52T)

或種の鱗翅類幼蟲は自己の排泄物を遠方に飛ばす性質をもつているが，この性質は造巣性幼蟲に於て甚だしく発達しており殊にセセリチョウ科 Hesperidae やハマキガ科 Tortricidae の幼蟲では尾端に強くキチン化した櫛状附属物を備えていることが多い．磐瀬太郎氏は[1]嘗てこれを"脱糞裝置と"名附けられたが或は"放泄板"乃至は"放泄櫛"と呼んだ方がより適切であるかも知れない．ところで私は数年前に偶然この裝置を全く造巣性をもたないモンキチョウの幼蟲に

1) 昆蟲界, Vol. 11, No. 116, p.537 (1943)

見出したが，このモンキチョウ幼蟲の脱糞裝置はセセリチョウ類のものと比較して全く遜色のない程に発達したものであつた．本邦に於ては未だ斯かる事実は知られていないと思はれるので，次に両者を比較しつゝ形態の大略を記してみようと思う．

1. モンキチョウの脱糞裝置はセセリチョウのそれに比しより尾端に近く存在する如く思はれる．これは観察に際し先づ気の付く事でモンキチョウに於てはこれを外側より容易に見得るに反し，セセリチョウ類では鉗子にて肛上板を揭げねば見得ない事が多い．

2. モンキチョウの裝置では櫛全体が横に拡がつており長さより幅が広いが，セセリチョウ類では逆に長さの方が幅よりも大で半卵形乃至は砲彈形をなしている．

3. 櫛の歯の数は Frohawk[2] はコキマダラセセリ幼蟲について18と報告している．大体セセリチョウ類では18内外と見てよいと思う．私の観察ではモンキチョウに於て13を数え得た．尤も歯は破損し易いものゝ様で殊に老熟幼蟲に於ては不完全なものが多い．從つて個体間に variation がみられるものか否かは未だ確めるに至つていない．

4. 歯はセセリチョウ類ではその大部分が互に融合しているが，モンキチョウに於ては全長の約半ばは全く free である．

5. 歯の先端はセセリチョウ類ではいづれも尖つているが，モンキチョウでは鈍頭不定形である．

6. 歯の長さはセセリチョウに於ては中央最も長く左右にゆくに從い漸次短かくなつているが，モンキチョウでは両端の数本を除き他は大略同長である．

7. モンキチョウにては歯に分枝を派生するものがある．この分枝は大きさ一定せず基部はいづれも本歯に融合している．この分枝を有する歯は大体2本おきに存在しているものゝ様である．

実際モンキチョウ幼蟲はこの脱糞裝置で少くとも 20cm は確実に排泄物を飛ばしてしまう．そこで我々が糞の所在を以て幼蟲を探索するのは失敗に終るに違いない．同様な性質は故木部光德氏[3]によりキチョウに於て観察されている．私は未だキチョウの脱糞裝置に就いては調査するに至つていないが，恐らく同様な裝置を所持しているものであろうと思う．

私は最近 A. Peterson[4] が同様な裝置を北米産 *Colias philodice eurytheme* Bdvl. に就いて図說しているのを見た．同図は明に私の観察したモンキチョウの裝置との酷似を示しているが，簡略に過ぎる爲両者の差異を求めることは出來なかつた．

SUMMARY

Anal comb of the Japanese *Colias hyale poliographus* Motsch. was described. The comb is transverse and consists of thirteen teeth. The tooth is elongate and obtuse at the apex; basal half fused with each other but free apically; every third tooth has a small process on a side which is fused at the base. The length of the teeth is subequal excepting those at each side of the comb which are shorter than t e rest.

This is somewhat allied to the anal comb of *C. philodice eurytheme* Bdvl. from N. America, which was illustrated by Peterson. However, detailed comparison is impossible on account of his sketch being too rough.

2) The Complete Book of British Butterflies, p.380 (1934)
3) 生態昆蟲, Vol 1, No. 1, p.13 (1946)
4) Larvae of Insects, Part I, p.192, F. L41, J (1948)